幼児の運動指導を重視したテスト作成の試み（3）

○丹羽丈司（同朋大学） 村岡真澄（愛知教育大学） 宗高弘子（筑実短期大学）

 Dynoeの運動指導、運動アーチマンメントテスト

＜著者＞

幼児の運動発達を客観的に、より的確に把握しようと
する試みはすでに多くなされ、重要な知見や提言が蓄積
されている。筆者らは、幼児期の運動指導の望ましい内
容や方法を追求するという目的にしたがって、それにふ
さわしいテストの作成を試みてきた。

前回までの、筋部の運動成績の測定（1971，1979）を再検討し、その結果を幼児の運動アーチメン
テストとして示してきた。そして、前回までに問題と
なった点について修正を加え、今までこのテストを実施
しなかった園にて実施した。

＜方 法＞

（1）対象：愛知・岐阜・岡山県下の幼稚園・保育園計6
園の3・4・5才児（男子303名、女子311名）の計616名。
（2）測定：①運動アーチメンテスト（資料参照）による。
移動、平衡、操作系各技能（D.L.Gallahue）のうち、幼
児が興味をもって取り組み、遊びとしての発展が予想さ
れる10種目の動作について“できる”“できない”の
2尺度で判定。②基礎運動能力テストとして、5秒間走、
立ち幅跳び、硬式テニスボール投げの3種目を測定して、
1～5の段階評価を行った。

（3）調査期間：1990年2月

表1 足・胸・投の年齢別平均

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢</th>
<th>男子</th>
<th>女子</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>4.0</td>
<td>1.8</td>
<td>1.6</td>
</tr>
<tr>
<td>4.6</td>
<td>2.3</td>
<td>2.0</td>
</tr>
<tr>
<td>5.0</td>
<td>3.1</td>
<td>2.3</td>
</tr>
<tr>
<td>5.6</td>
<td>3.8</td>
<td>3.4</td>
</tr>
<tr>
<td>6.0</td>
<td>4.0</td>
<td>3.7</td>
</tr>
<tr>
<td>6.6</td>
<td>4.7</td>
<td>3.9</td>
</tr>
</tbody>
</table>

＜結果と考察＞

（1）基礎運動能力テストの結果について
表1は走、跳、投3種目の評価点の年齢別・性別の平
均値と、それに対応した測定値を示したものである。前
回までと同様に、成績に伴ってパフォーマンスに一定の
値が増加がみられる。また、5段階評価の基準を変更した
が、各年齢の測定値の平均は前回とほぼ同じであった
（表3）。

（2）運動アーチメンテストの結果について
前回あげた問題点より、①平均台車上片足立ちと両足反
転跳びを3才児より実施。②ギャップ・スキップをス
キップ1種目にする。③横木跳びの判定基準をもう少し
細かく示す。④棒のわりの成績点を1定数にする。
等の修正を加え実施した。表2は10種目の動作の成績
率を年齢別・性別に示したものである。各種目の成績
率は大体に伴い上昇している。しかし、その成績率は前回
と比べると平均台車上片足立ち、さかあがり、馬びび、ポ
ール投げ上げ手たたき受け、なわびび、両足反転跳び等
で大きく劣っている。これは、このテストを毎年実施し
ていたことや、園の遊びの形態や運動指導の方法に大
きく影響を及ぼし、それが前年までの実施園と今回実施
園との差となったのであろう。このことは、基礎的運動
能力測定の走・跳・投種目に出っただけでも明らかで
ある。

以上ここまでの研究より、このテストの妥当性・信頼
性は高く、簡便性・実用性もあり、筆者らの研究目的に
合致したテストであると認めるに至った。

表2 遊斎実施園との比較

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢</th>
<th>男子</th>
<th>女子</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>4.0</td>
<td>14.5</td>
<td>16.5</td>
</tr>
<tr>
<td>4.6</td>
<td>16.7</td>
<td>18.7</td>
</tr>
<tr>
<td>5.0</td>
<td>17.3</td>
<td>19.3</td>
</tr>
<tr>
<td>5.6</td>
<td>18.8</td>
<td>20.8</td>
</tr>
<tr>
<td>6.0</td>
<td>19.6</td>
<td>21.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>

＜一般＞

北大附属幼児園は、1930年4月に設立され、1931年4月に廃止された。
園長は、富士川茂雄が務め、19個の教員が園を運営した。

−504−